

ハッピー(8%)ごみ減量プラン

(第4次豊中市ごみ減量計画)

令和7年度
(2025年度)

事業等報告書 速報版

ハッピー(8%)ごみ減量プラン事業等報告書速報版は、当プランの年度ごとの進捗状況を速報版としてまとめたもので、ごみの状況をみなさんにわかりやすく紹介するとともに、ごみ減量施策の進捗状況に対し、ご意見をいただき、今後の事業展開に活かすことを目的としています。

【ハッピー(8%)ごみ減量プランの改定】

市は、令和5年（2023年）3月、廃棄物を取り巻く社会情勢や新型コロナウイルス感染拡大による経済活動の変化に対応するため、「第4次一般廃棄物処理基本計画」を改定。これに合わせ、アクションプランである「ハッピー(8%)ごみ減量プラン」についても改定を行いました。

【ハッピー(8%)ごみ減量プランの概要】

基本理念は



○協働で取り組む循環型社会の構築

基本施策は



○廃棄物の減量に向けた発生抑制・再使用と質の高いリサイクルの推進
○廃棄物の適正処理の推進

【ハッピー(8%)ごみ減量プランの減量目標】

減量目標

ごみの焼却処理量を令和9年度(2027年度)には平成28年度(2016年度)実績より8%削減

平成28年度(2016年度)
103,584t/年

8,303t削減



令和9年度(2027年度)
95,281t/年

個別目標

★家庭系ごみ1人1日当たり量(再生資源除く)

平成28年度(2016年度)
414g/人/日

20g削減



令和9年度(2027年度)
394g/人/日

★事業系ごみ量(再生資源除く)

平成28年度(2016年度)
43,099t/年

約6千t削減



令和9年度(2027年度)
36,601t/年

★食品ロス1人1日あたり量

平成12年度(2000年度)
166g/人/日

57.2g削減



令和9年度(2027年度)
108.8g/人/日(必達目標)

71.3g削減



令和9年度(2027年度)
94.7g/人/日(高位目標)

令和7年度(2025年度)のごみ減量の進捗状況

減量目標

ごみの焼却処理量

目標達成



最終目標値

95,281トン

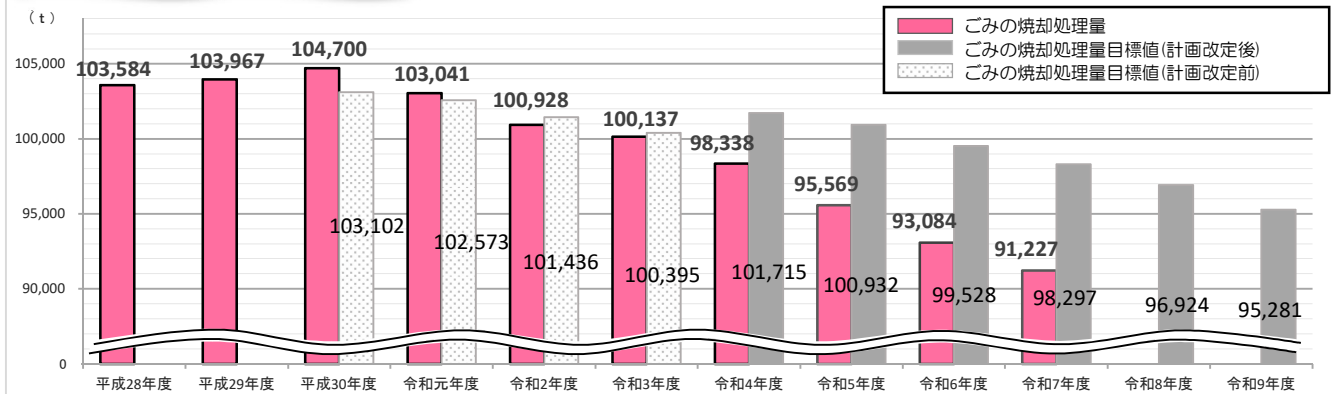
(計画改定前は95,368トン)

ごみの焼却処理量

令和6年度
93,084トン

1,857トン減

令和7年度
91,227トン



・ごみの焼却処理量：豊中市伊丹市クリーンランドにおいて焼却処理されるごみの年度合計量

審議会からの評価

当年度の目標値を大きく達成しています。物価高騰を背景とした消費抑制や環境意識の定着、あわせて市民・事業者・行政の三者協働によるごみ減量の取り組みなどにより減少したと考えられます。今後も発生抑制を第一とし、継続して家庭系ごみ・事業系ごみの減量に向け、効果的な施策に取り組む必要があります。

個別目標

家庭系ごみ1人1日当たり量・家庭系ごみ量(参考)

目標達成



最終目標値

394グラム

(計画改定前は386グラム)

家庭系ごみ1人1日当たり量

令和6年度
379グラム

6グラム減

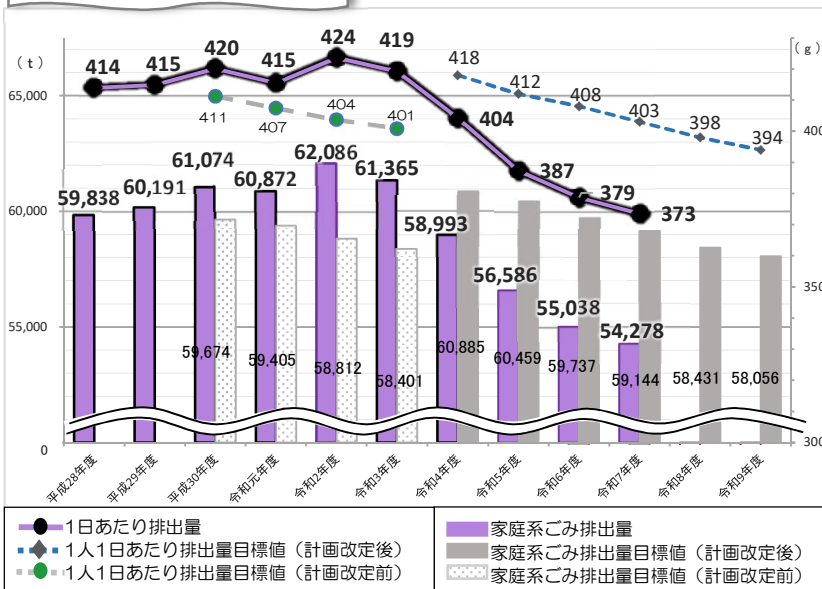
令和7年度
373グラム

家庭系ごみ量

令和6年度
55,038トン

760トン減

令和7年度
54,278トン



・家庭系ごみ1人1日当たり量：豊中市伊丹市クリーンランドへの家庭系ごみ(可燃・不燃・粗大ごみ)搬入量(再生資源を除く)の市民1人1日当たり量

主な取組み

- ◆子ども服リユース・臨時ごみリユース
- ◆ごみ分別アプリ、豊中市公式LINE、とよなか環境TVでの周知動画配信
- ◆家庭から出る廃食油の回収
- ◆再生資源集団回収報奨金交付事業
- ◆再生資源買取市事業
- ◆廃棄物減量等推進員制度による地域に密着したごみの減量、再資源化の推進

審議会からの評価

本市の家庭系ごみの排出量は、近年減少傾向にあり、府内でも上位水準を維持しています。物価高騰による消費抑制やリユース意識の高まりなどが要因と考えられ、今後も社会情勢を注視しつつ、発生抑制を基本に、引き続き資源循環に向けた取組みを進める必要があります。

令和7年度のトピックス

官民連携で災害時の廃棄物処理を迅速化

地震などの災害発生時に、災害廃棄物の処理を適正かつ円滑に行うことを目的に、令和7年(2025年)12月11日に大栄環境株式会社と「災害廃棄物等の処理に関する基本協定」を締結しました。

災害が起きた時に、1日も早く日常生活を取り戻すための体制を整えます。



【協定締結式】

個別目標

最終目標値

36,601トン

(計画改定前は38,191トン)

事業系ごみ量

事業系ごみ量

令和6年度
36,711トン

1,136トン減

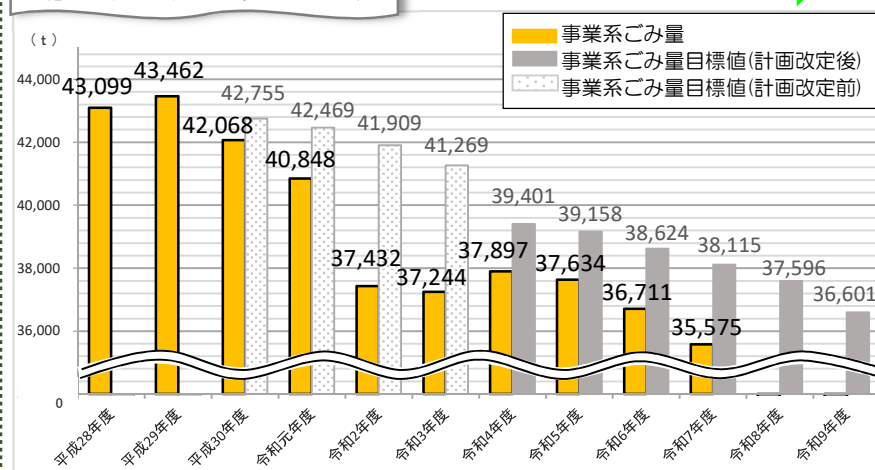
令和7年度
35,575トン

主な取組み

- ◆事業系一般廃棄物管理責任者研修会の実施
- ◆ごみ処理施設での搬入物展覧検査
- ◆事業者向けごみ減量周知啓発「リニュース」の発行
- ◆多量排出事業所へのごみ減量指導
- ◆豊中エコショップ制度

審議会からの評価

物価高騰などの社会情勢の影響に伴い、事業者によるごみの発生抑制や環境意識の向上が定着したことから減少したものと考えられます。今後も行政と事業者が一体となり、より効果的な取組みを推進する必要があります。



・事業系ごみ排出量：豊中市伊丹市クリーンランドへの事業系ごみ搬入量（再生資源を除く）の年度合計量

目標達成



個別目標

最終目標値

108.8グラム（必達目標）

94.7グラム（高位目標）

食品ロス1人1日当たり量

食品ロス1人1日当たり量

令和6年度
105.1グラム

28.4グラム減

令和7年度
76.7グラム

【食品ロス1人1日当たり量】

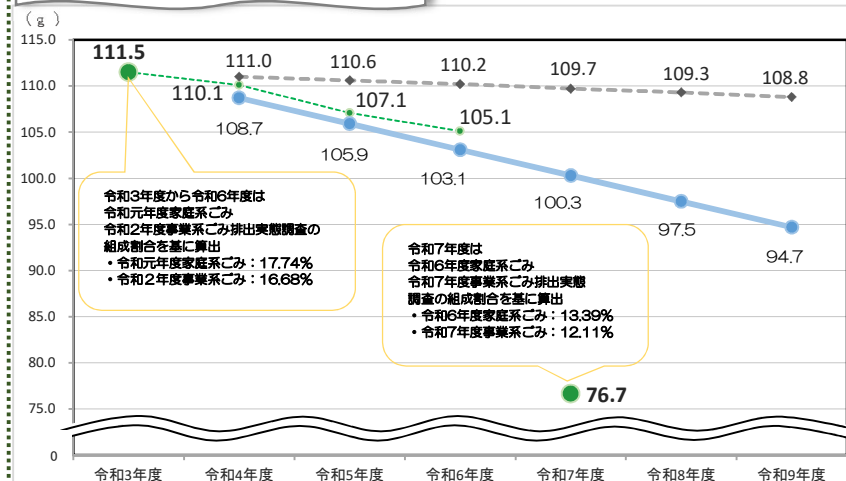
家庭系および事業系ごみ量の実績値に、排出実態調査における食品ロスの組成割合を乗じて算出した推計量。

主な取組み

- ◆フードドライブ活動の促進
- ◆子ども向け食品ロス削減に向けた普及啓発冊子の発行、とよなか環境TVでの周知動画配信
- ◆食品関連事業者における食品ロス削減の取組みの促進

審議会からの評価

直近の組成割合に基づく推計量ですが、必達目標および高位目標値ともに大きく達成しています。食品ロス削減意識の定着や物価高騰を背景とした家庭における無駄のない買い物が増加に繋がったと考えられます。今後も食品ロス削減に向けた取組みを推進していくことが必要です。



● 1人1日あたり排出量
◆ 1人1日あたり排出量目標値（必達目標）
■ 1人1日あたり排出量目標値（高位目標）

【食品ロス算出方法について】
詳しくはこちらをご覧ください。



参考指標

リサイクル率

進捗状況

- 計画改定後、参考指標に位置付けました。
- 令和6年度は15.9%でした。
- 令和7年度は15.8%で、0.1ポイント減少しました。

今後の方向性

循環型社会の形成に向け、家庭用廃食油の回収拠点拡大など、さらなる資源循環への取組みを推進していきます。

令和7年度のトピックス

出前講座実施しています

環境指導課では、事業系ごみの減量と適正処理の推進のため市内事業者を対象とした出前講座を実施しています。環境指導課の職員が各事業所へ出向き、事業所ごとの課題や適正処理の重要性、具体的な減量・リサイクル手法について説明します。



【三國製薬工業株式会社】

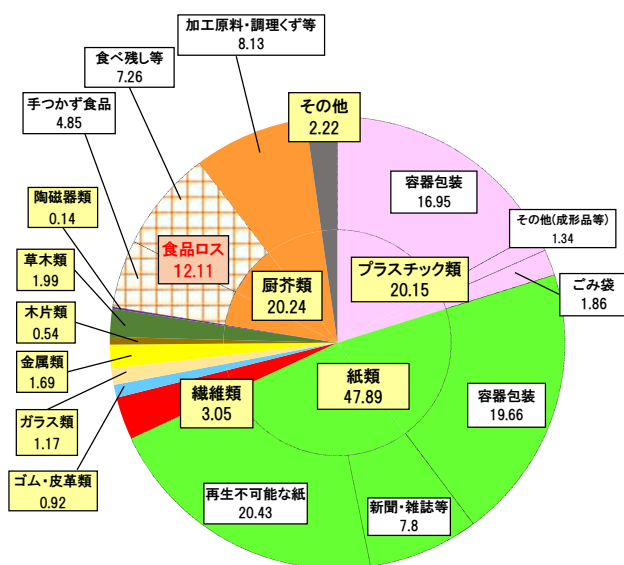


申込方法など詳しくは、市ホームページをご確認ください。

事業系ごみ排出実態調査の結果

【調査期間：令和7年（2025年）11月10日（月）～11月28日（金）】

全業種平均のごみ組成詳細（重量比：％）



●組成概要

事業系全業種平均のごみ重量比で組成詳細を見ると、プラスチック類では、袋・シート類等の容器包装が16.95%を占め、プラスチック成型品やスプーン・ストロー等の使い捨て成型品等を合わせたその他（成形品等）が1.34%となっています。

紙類では、段ボール箱等の梱包材やその他紙製の容器包装が19.66%、ティッシュペーパーや紙おむつ等を含めた再生不可能な紙が20.43%を占め、紙類が全体の47.89%となっています。

厨芥類は、全体の20.23%を占め、そのうち約6割が食品ロスに相当します。この食品ロスのうち、約4割は「手つかず食品（50%以上残存）」で、残り6割は食べ残し等の一般厨芥類となっています。



【手つかず食料品（100%残存）】

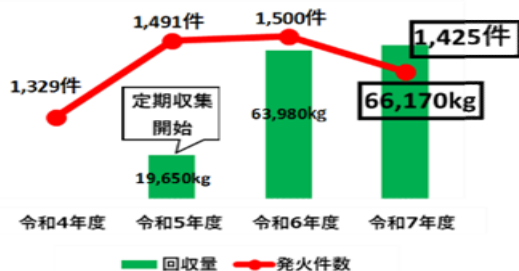


【分類作業風景】

『充電式電池内蔵の小型家電・電池類』の定期収集を行っています

充電式電池内蔵の小型家電製品や電池類が原因の発火事故が、処理施設及び収集車両で多発しているため、令和5年（2023年）10月から、充電式電池内蔵の小型家電製品および電池類の定期収集を実施しています。定期収集開始以降、小型家電の収集量は順調に増加しています。増加傾向にあった処理施設での発火件数も横ばいとなり、令和7年度は減少しました。引き続き、発火件数の減少に、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

回収量・発火件数推移



環境美化功労者に感謝状の贈呈

地域のブランドカアップに取り組んでいただきました！

令和7年度（2025年度）の環境美化功労者として、舟場様、南出様、奥アンツーカ様、北条花いっぱい同好会様に感謝状を贈呈しました。

市は、地域清掃活動に登録した個人や団体に、清掃用具の貸出しやごみ袋の配布、清掃後のごみの回収などの支援を行っています。地域清掃活動に登録し、3年以上継続的にまちの美化に貢献した個人や団体を表彰しています。



舟場様



南出様



奥アンツーカ様



北条花いっぱい同好会様

マイボトルでの給水がもっと便利に！

～環境・お財布にもやさしい～

豊中市は、マイボトル利用の普及啓発とプラスチックごみ削減を推進するため、市内公共施設など28か所に給水機を設置しています。

ペットボトル飲料を買う代わりに、マイボトルを利用することでプラスチックごみの削減ができます。さらに過剰な使用を抑制することは、脱炭素社会の実現や環境負荷の低減につながります。

ぜひマイボトルを利用し、環境への配慮のため、ペットボトル使用削減にご協力ください



【設置場所については、市ホームページをご覧ください。】

【アルコニックス株式会社様から、26機の給水機をご寄付いただきました。】